

教科		数学		科目	数学	単位数	6
学年	中学3年	科			専攻・コース		
教科書		中学数学3 (教育出版)		副教材	自立学習新演習(Learning)		
学習到達目標		① 数の平方根について理解し、数の概念についての理解を深める。 ② 2次方程式について理解し用いる能力を培う。 ③ 具体的な事象を調べることを通して、関数 について理解する。 ④ 図形の相似、円周角と中心角の関係や三平方の定理について、観察、操作、実験などの活動を通して理解させるとともに、論理的に考察し表現する能力を伸ばす。					
評価の観点		① 数学への関心・意欲・態度 ② 数学的な見方や考え方 ③ 数学的な表現・処理 ④ 数量、図形などについての知識・理解 上記の4点を定期試験・小テスト・提出物・授業態度を通して評価する。					
期	月	学習内容・項目		学習のポイントと到達目標			備考
前期	前期第1回定期試験	第1章「式の計算」 ①多項式の乗法と除法 ②因数分解 ③式の活用 第2章「平方根」 ①平方根 ②平方根の計算 ③平方根の活用		①単項式と多項式の乗除について理解し、多項式の積の展開の仕方について理解する。 ②乗法公式を用いて、一次式の積の展開ができるようにする。 ③ 数の因数分解の意味と多項式を因数分解することの意味を理解し、共通因数を取り出したり、乗法公式を用いたりして因数分解ができるようにする。 ④ 問題解決に式の展開や因数分解を利用することができるようにする。 ① 新しい数の存在を知り、その数の必要性和意味を理解し、数の概念を広める。 ② 数の平方根の中には、限りなく続く小数でしか表せない数があることを知り、数直線上の数についての理解を深める。 ③ 根号を含む簡単な式の計算や変形ができるようにする。			
		第3章「2次方程式」 ①2次方程式とその解き方 ④ 2次方程式の活用		① 2次方程式の必要性和その解の意味を理解する。 ② 因数分解を利用して2次方程式を解くことができるようにする。 ③ 解の公式を利用して2次方程式を解くことができるようにする。 ④ 2次方程式を問題解決に利用することができるようにする。			
前期	前期第2回定期試験						

	前期 期末試験	<p>第4章「関数」</p> <p>①関数 $y=ax^2$</p> <p>②関数 $y=ax^2$ の活用</p> <p>③いろいろな関数</p>	<p>① 具体的な事象の中にある2つの数量の関係を、変化や対応の様子に着目し、関数を考察する。</p> <p>② 関数$y=ax^2$の関係を表、式、グラフで表現したり a の意味や変化の割合に着目するなど、その特徴をよみとる。</p> <p>③ 関数 $y=ax^2$ の関係が実生活と深く関わっていることに気付き、関数 $y=ax^2$ を活用する。</p>	
期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備考
	後期 第1回 定期試験	<p>第5章「相似な図形」</p> <p>①相似な図形</p> <p>②平行線と線分の比</p> <p>③相似な図形の面積比と体積比</p> <p>④相似な図形の活用</p>	<p>① 図形の拡大・縮小の意味を知り、それをもとに図形の相似の意味と相似な図形の性質を理解する。</p> <p>② 三角形のそれを使って図形の性質を証明することができるようにする。</p> <p>③ 平行線と線分の比についての性質を理解し、これを活用することができるようにする。</p> <p>④ 三角形の中点連結定理を理解する。</p>	
	後期 第2回 定期試験	<p>第6章「円」</p> <p>①円周角の定理</p> <p>②円周角の定理の活用</p> <p>「藤枝順心高校入試対策」</p>	<p>① 円周角の意味、円周角と中心角の関係及び等しい弧に対する円周角の意味を理解する。</p> <p>② 中心角と円周角の関係をを用いて、角の大きさを求める。</p> <p>③ 円周角の定理の逆を用いて、同一円周上にある4点を見つけ出す。</p> <p>④ 円周角に関する定理を利用して、図形の性質を証明する。</p> <p>⑤ 円外の1点から円に引く接線の作図ができる。</p> <p>① 過去5年分の問題を解きながら出題傾向を知る。</p> <p>② 毎年出題される計算問題は最後まで解けるようにする。</p> <p>③ 難易度が高い問題は解説を聞いた後に自分で解けるようにする。</p>	
期				

<p style="text-align: center;">学 年 末 試 験</p>	<p>第7章「三平方の定理」</p> <p>①三平方の定理</p> <p>②三平方の定理の活用</p>	<p>① 三平方の定理は、直角三角形の三辺の長さの関係を表したものであることを理解する。</p> <p>② 図形の面積を利用して、三平方の定理の証明をする。</p> <p>③ 三平方の定理を利用して、座標平面上の2点間の距離、長方形の対角線の長さ、円錐の高さ、直方体の対角線の長さなどを求める。また、三平方の定理は平面図形と空間図形のどちらの計量にも利用できることを理解する。</p>	
--	---	--	--